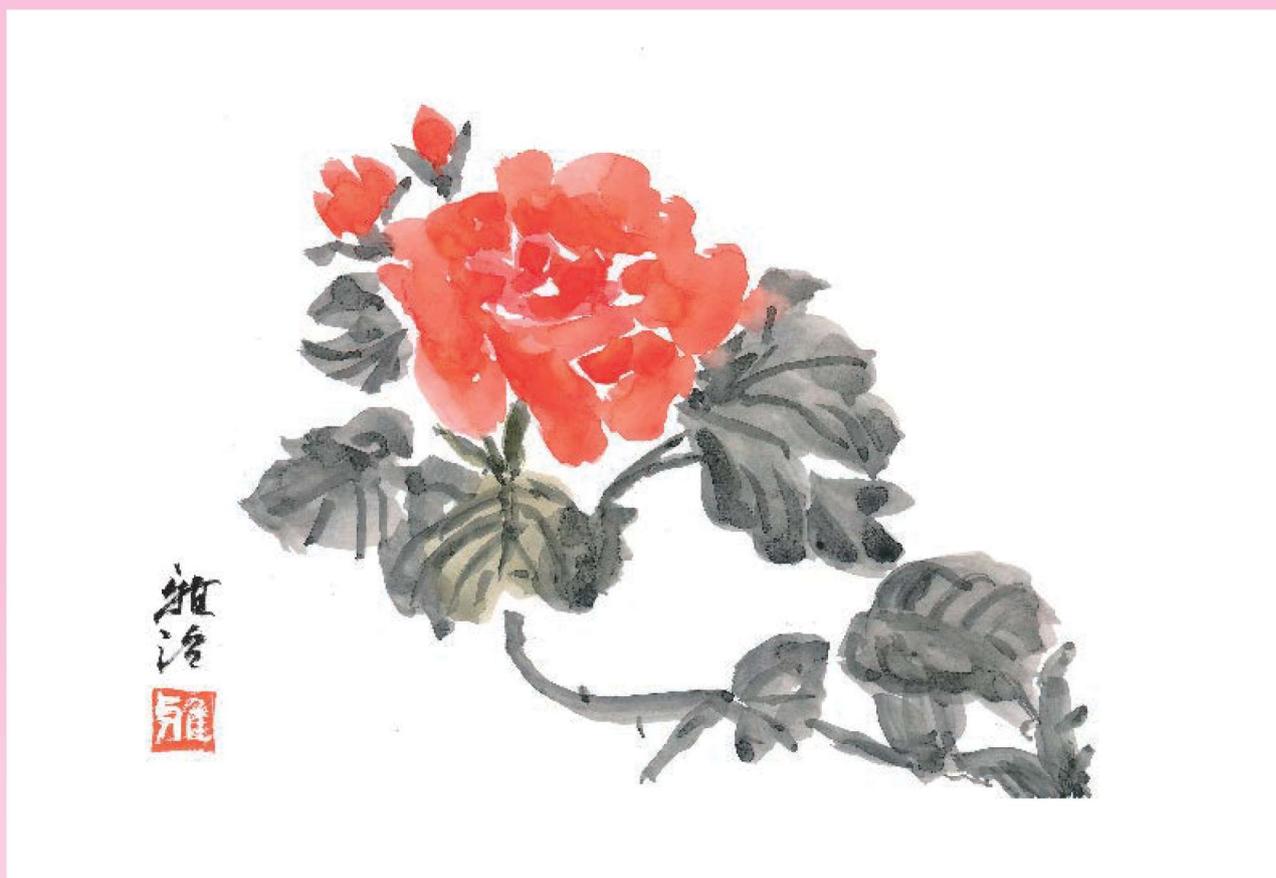


新居浜ロータリー会報

MAY
2017

5



クラブ基本方針
《'16 - '17》

身近なところから
全員参加で奉仕を!

国際ロータリーテーマ
《'16 - '17》

人類に奉仕するロータリー

目 次

一宮グループは創業75周年を迎えました… 4	一期一会 …………… 6
国際ロータリー第2670地区 地区大会報告 5	私の履歴書 (第2回) …………… 7
地区大会報告 …………… 6	例会記録・ニコニコBOX…………… 10

◆◆◆◆◆ 2017年 4・5・6月例会と行事予定 ◆◆◆◆◆

4月 (母子の健康月間)		5月 (青少年奉仕月間)		6月 (親睦活動月刊)	
4日	【合同夜間例会】(18:30～) 新居浜南RC担当 卓話：新居浜RC担当 ※曜日注意！	4日	みどりの日	1日	・委員会活動回顧 (Ⅰ) (職業・社会・人尊 国際・財団・米山 青少年・RA・IA)
13日	・内部卓話 新入会員：山本一心会員 ・情報雑誌 ・家庭集会 (18:00～) (職業・国際・財団・米山)	11日	・外部卓話 (青少年) ・情報雑誌 ・新旧クラブ協議会 (18:30～)	8日	・委員会活動回顧 (Ⅱ) (クラブ奉仕・プログラム・出席 増強・分類選考・広報 情報雑誌・会報・親睦) ・家庭集会 (新旧理事・副幹事・副会計)
20日	・地区大会報告	18日	【移動例会】(12:00～) 会長杯コンペ (新居浜CC) ※時間注意！ ・会長杯表彰式&懇親会 (19:00～)	15日	・次年度プログラム説明 ・次年度予算説明 ・情報雑誌
27日	【移動例会】お茶の会 (星越館：旧住友倶楽部)	25日	・クラブフォーラム (戦略計画委員会)	22日	【夜間例会】(18:30～) (会長活動回顧&総括) (幹事・SAA 感想)
				29日	特別休会
14 15~16 23日	・地区大会記念ゴルフ (坂出CC) ・地区大会 (サンポート高松) ・RAC会長幹事会 (新居浜)			10 17~18 25日	・IAC会長幹事会 (四国中央市) ・RAC地区大会 (松山) ・4RCゴルフ (新居浜RC担当)

2016~17年度

4月中の出席成績

(平均100%)

区分 例会日	会員数		出席率		メーキャ ップ数	修正 出席率	来訪ロー タリアン
	会員数	出席 会員数	欠席 会員数	当日 出席率			
4日	60	40	20	66.67%	20	100%	0
13日	60	48	12	80.00%	12	100%	0
20日	60	45	15	75.00%	15	100%	1
27日	60	45	15	75.00%	15	100%	0
合計	240	178	62		62		1 (カード 17)
平均	60	44.5	15.5	74.17%	15.5	100%	累計 (カード 87)

定例理事会報告

幹事 増田 忍

日時：平成29年4月13日(木) 12:00～

場所：リーガロイヤルホテル新居浜

諮問人員：11名

議題および内容

1) 会員の退会について

2) 新会員の推薦について

3) 新居浜ロータリークラブ内規の改正について

4) カンボジア学校建設について

持ち回り理事会報告

幹事 増田 忍

日時：平成29年4月20日(木) 12:00～

場所：リーガロイヤルホテル新居浜

諮問人員：11名

議題および内容

1) 新会員の入会について

とき 今月のこの瞬間



■ 4月27日 お茶の会 (星越館：旧住友倶楽部) ■



■ 5月18日 会長杯コンペ (新居浜カントリー倶楽部) ■

一宮グループは創業75周年を迎えました

一宮捷宏



この度は卓話の機会を頂戴しましたので、グループのご紹介と我々が取り組んで参りました「社会奉仕」や「地域貢献」「スポーツ振興」等についてお話をさせて頂こうと思います。一宮グループは

1942年(昭和17年)1月、逞しい開拓者精神に溢れた創業者の故一宮亀久雄が喜多郡白滝村(現大洲市白滝)で森林開発に着手したことに始まります。その後、製材業から建設業へ事業がシフトしていく中で、此の地新居浜においても住友グループ様の協力業者という位置づけで、歩んで来ましたが今日の礎となっております。現在では、建設(リーダーカンパニー：㈱一宮工務店) 化学(リーダーカンパニー：日泉化学(株)) 物流(リーダーカンパニー：一宮運輸(株))の3ブロックで構成され、グループ企業は国内19社、海外7社の計26社、総従業員約4,400名、総売上高約1,000億円となっております。そして今年1月に75周年の節目を迎えることが出来ました。これもひとえにお引き立てくださるお取引先様、ご支援いただく地元愛媛の皆様のおかげであり心より感謝申し上げます。

当グループは1.活力ある経営 2.清新な経営 3.誠実な経営を経営基本理念とし、また、起業期より創業者から継承されてきた人間尊重の考え方を背景に、近年は「共創・共働・共歓」をスローガンに掲げ時代の求める先端技術化、高度情報化、グローバル化等々の経営革新に努めて参りました。現在に於いてはグループビジョンをNext Is The Best (いまに満足せず、さらに次の最善を目指す)とし、目まぐるしく変化する事業環境に対応するために、古くて新しい「社訓」の言葉通り、逞しく果敢に挑戦(進取の精神)、可能性を信じ決して諦めない(忍耐と努力)、人が中心(家族的情義心)、思いやり(互譲互助の精神)の事業活動を続け、将来に渡り社会貢献を果たすべく自立した個性ある事業の連合体を目指し取り組んでおります。

グループ26社の中に協同組合一宮開発グループという組合があります。グループの統括、シンクタンクの活動を行い、各社毎ではなく、グループ統一の事業、社会奉仕活動等の推進や合理化を目的に1976年(昭和51年)に中小企業等協同組合法に則り設立しました。当グループは異業種のグループです。当時としては大変珍しい組合でありました。現在では教育・選抜型研修事業、福利厚生、地域振興事業、ボランティア、スポーツ振興、情報広告宣伝事業(社内報等)等を進めております。1994年(平成6年)に「一宮グループボランティア憲章」を制定しました。一部をご紹介しますと、1983年(昭和58年)グループ創業者の障害者福祉への想いから、重度身体障害者授産施設「社会福祉法人白鳥会東予希望の家」の開設に土地の寄附や人の派遣等、物心両面の経営支援をさせて頂き、今も運営に参加しております。また、グループ創業50周年にあたる1992年(平成4年)には月例の市内清掃(国領川河川敷・滝の宮CC入口付近県道)がスタートし、その後、毎年7月の市民一斉清掃にも参加し、現在も継続しております。また、限界集落、過疎地域の活性化のため、愛媛県「元気な集落づくり応援団マッチング事業」に賛同し、企業応援団として参加しております。●大洲岩谷地区山鳥坂夜神楽(2010年より、草刈や清掃などの集落環境の維持・保全・伝統行事などの継続) ●西条大保木(おおふき)地区ふれあい運動会(2011年より、運動会の準備・参加による限界集落の活性化)等であります。地域スポーツ振興としましては、真鍋和人選手(ウェイトリフティング・1984年(昭和59年)ロサンゼルスオリンピック銅メダリスト)を社員として応援したのが最初であります。その後はレスリングでもオリンピック選手が(松本慎吾選手)誕生しました。現在は、いよいよ今年と成りましたえひめ国体に向け、有望選手の受入れ、育成にも力を入れ、愛媛県の天皇杯・皇后杯の獲得に貢献出来るよう取り組んでおります。今後とも一宮グループは地域の皆様と共に歩ませて頂きます。

ボランティア活動
Next is the Best
一宮グループ

月例市内清掃

※写真: 国領川河川敷での清掃

約30分の清掃で、多い時には約50kgのゴミが集まります。

ボランティア活動
Next is the Best
一宮グループ

新居浜市民一斉清掃

2016年(平成28年)で第30回を迎えた新居浜市民一斉清掃。年1回(7月)開催される当清掃には、一宮グループも第1回目から継続して参加しています。

ボランティア活動
Next is the Best
一宮グループ

愛媛県「元気な集落づくり応援団マッチング事業」

2010年(平成22年)より大洲岩谷地区山鳥坂夜神楽
西条大保木地区ふれあい運動会へ参加

福利厚生事業

国際ロータリー第2670地区 地区大会報告

増 田 忍



2016-2017年度の地区大会が4月14日～4月16日に高松市で開催されました。前田直俊ガバナーの所属する坂出東ロータリークラブがホストクラブでした。

4月15日の会長・幹事協議会の報告を致します。

会場は高松シンボルタワー・タワー棟6階・かがわ国際会議場で、高橋正明会長と私の2人で出席しました。10時に金旻洙(Kim Kyung Soo) RI会長代理が入場し開会となり、前田直俊ガバナーによる点鐘が行われました。韓国国歌「愛国歌」演奏、国歌「君が代」斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱と続けました。そして金旻洙RI会長代理が紹介され挨拶をされました。時折流暢な日本語を交えての韓国語での挨拶でした。また、背面の大型スクリーンには日本語に訳されたメッセージが映し出されたので非常に解り易くて良かったです。

次に協議及び報告事項が発表されました。国際

ロータリー第2670地区 2015-2016年度会計決算書も資料として配布されました。大会決議案は地区大会プログラムのP66に掲載されています。会計報告と大会決議が満場一致の拍手で承認されました。その後柳澤光秋ガバナーエレクト(高知東RC)と桑原征一ガバナーノミニ(新居浜RC)と大島浩輔ガバナーノミニ(徳島プリンスRC)の紹介がありました。

そして次期地区大会開催について柳澤光秋ガバナーエレクトより2017年11月にケントギルバート氏を招き高知市で開催すると説明がありました。

また、会員増強・国際奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団・グローバル補助金活動・米山記念奨学会に関する報告もありました。

最後に、前田直俊ガバナーの点鐘で11:30閉会となりました。

今回の地区大会は新居浜RCは全員登録でした。新居浜RC会員全員に感謝申し上げます。そして、高松市まで車を運転して頂いた高橋正明会長、本当にありがとうございました。

地区大会報告

伊 東 省 司



今までは地区大会に参加しても、2日間の本会議に参加したことはありませんでした。しかし、来年は新居浜で開催することとなり、今回の地区大会には2日間参加させて頂きました。

今回の高松で開催された地区大会は、登録人数2,100名で、内会員1,900名、出席者数は1,500名を超え、盛大に挙行されました。

1日目の午後から本会議前にアトラクションが1時間程ありました。

坂出工業高校体操部の床体操演技で始まり、全国レベルの素晴らしい演技に度肝を抜かれました。

次に、坂出高校合唱部のこれも全国レベルの素晴らしい歌声で、さわやかな気持ちにさせて頂きました。

最後に、世界的に活躍しているポイラボのユタ・アンド・アスカ、バイオリンのマリ、フルートのマリアによる光と音のスペシャルコラボレーションに感動させられました。来年の新居浜大会でのアトラクションをどうするか、大変なことだと思いました。

14時から本会議が始まり、RI会長代理として韓国の3,700地区から金昀珠（キム・キョンスー）ご夫妻が出席されました。金RI会長代理は、身近な地域社会から国へ、更に世界平和のために献身

的な奉仕活動について述べておられました。

前田ガバナーの挨拶としては、本会議のテーマ「守ろう奉仕の深い理念～進めよう若い世代へのニューアイデア」について話され、変化に対応できるロータリー活動を述べておられました。

基調講演では、2680地区の石井パストガバナーから「二つの奉仕理念と実践活動」と題して、奉仕活動のあり方について話されました。

懇親会では、1,000名以上の参加があり、二部屋を使つての盛大な懇親会でありました。

2日目は、各クラブの表彰がありまして、当クラブは100%出席率と地区大会登録100%で表彰を受けました。

各委員会の報告の後、元三重県知事の北川先生による記念講演があり、「四国で一羽の蝶々がはばたくと世界でハリケーンが生じる」と題して、徳島県上勝町の葉っぱ産業による町興し活動を例に、当初はたった一人の活動も、地域みんなを動かし、大きな運動になると言う話をされました。

いくら良い発想をしても、信念をもって実行し、周囲のみんなを動かさなければ成功しないと感じました。

来年の新居浜での地区大会は、新居浜ロータリークラブ全員が一丸となってやらなければならないと感じた次第です。私も会計長として、キメ細やかな予算計画を早い段階で立て一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

一期一会

淡交会新居浜支部 加藤 宗由

新緑の美しい好季節、藤の花、つつじの花咲く星越館庭園での、新居浜ロータリークラブ春季茶会が開かれました。

晴天に恵まれた野点での一服は、いかがでしたでしょうか。

私も皆様の前での点前に、少し緊張しながらも、新鮮な気持ちでお茶を点てることが出来ました。

あわただしい日々の中で、つい見失いがちな素直な気持ちや、身の回りの人達への思いやり、季節のうつろいを敏感に感じ取り、心のゆとりを得ること等、茶道を通じて学ぶことが出来ます。そして茶道は、人と人との関わりを大切にするもて



なしの文化でもあります。

相手を思いやる心を育む中で、自分の心を見つめる「道」である茶道は、生活にうるおいを与えます。

いろいろな作法を学び、心からのもてなしを実行しながら、人生を豊かにすることが出来ればと思います。

教えの中の“一期一会”を大切に、これからも精進して参ります。

自分を見直す機会を与えていただいた、新居浜ロータリークラブの皆様へ感謝し、増々のご発展をお祈り致しております。

ありがとうございました。

合掌

平成二十九年四月二十七日(木)		新居浜ロータリークラブ春季茶会 会記	
於 星 越 館		担当 淡文会新居浜支部	
本 席	床 積應老師筆 短冊 薫風	花 季のもの	花入 歌花筒
棚 知新	釜 筒竹地紋	水指 花紋	薄器 青楓流水 中泉
茶杓 逸外老師作 銘青嵐 共筒箱	茶碗 色絵 菖蒲	蓋置 染付 切子	建水 竹溜
御茶 清浄の白	菓子 せせらぎ	器 木地折敷	
ドイツ製	匠伯造	関神造	徳泉造
表完造	小山園詰	ハタゲ製	

☒ 私の履歴書 (第2回) ☒

伊 藤 雅 治



前回は大阪の市街はほぼ灰燼に帰し、知人も友人もばらばらになり私の大阪における拠点は無くなってしまったと云うところまで述べました。

昭和20年8月15日の朝、突如天皇陛下の玉音放送があるので、全員練兵場に集まるようにとの放送があり、直ちに練兵場に集まった。「全国民一団結して難局に当れ」という励ましのお言葉であろうと思っていたが、なんだか様子が違う、音質が悪くとぎれとぎれにしか聞こえず「堪え難きを耐え、忍び難きをしのび・・・」陛下のお声も悲壮感があり。特殊爆弾(原爆のこと)やソ連の寝返りの話やらやむなく敗戦を受け入れるが、全国民冷静に受け止め齟齬のないようにとのお諭であろうとやっと理解できた。頭を地にこすりつけて天皇陛下申し訳ありませんと大泣きする者。ショックが大きすぎて気が狂い変な行動をする者。米兵が上陸して来たら切りつけてやると武器庫に日本刀を取りに行く者等々、教官た

ちはしばらく生徒の様子を観察し、訓示をし落ち着かせて解散させ各分隊に帰した。長い一日であった。

翌朝、何時もの如く起床 生徒館前で体操、食事の前5分前の5分前に食堂前に集合。昨夜来空襲警報のサイレンは聞こえず、飛行機の爆音もなくしんとしている。誰だったかしみじみとした声で「平和だな」といった声が何時までも耳に残った。70年余経った今も時々その声が、響きが、よみがえってくる。

陸軍士官学校や海軍兵学校は廃校が早くから決まっており生徒には学年に応じて他の一般の学校への転入学の手續がとられていた。我らの高等商船学校は廃校にするのか、機構改革をして残すのか、なかなか決まらず、9月に入って一応解散して占領軍の意向を確かめることにしたのであろう、いったん親元に帰し指示を待とうということになった。この1か月の間は学校内に保護され養われて来たが、外界の状況も家族の状態も分からず、確とした見通しも立てないままに学校を離れ車中の人となった。

車窓から見る沿線の都市の姿は荒涼たるものであり、途中広島駅で休憩がありプラットホームに立ったが、見渡す限りの焼野河原、ただの焼け跡とは全く趣を異にしている。所々に鉄筋コンクリートの建物の崩れ残った瓦礫が見られるが木々の焼け残りは見られないし、灰色の世界を見ているようであった。巷の噂では今後70年は草木も育たない世界であろうということであった。

やっと防府駅に着く。隣の徳山市は石油コンビナートがあったので連日空襲を受け大きな被害があったが、防府市は全くの無傷で土地の人は天神様のおかげで空襲が避けられたのだと信じているようであった。防府の三田尻湾は日露戦争の頃はバルチック艦隊を迎撃するために、東郷元帥率いる連合艦隊が集結したような優秀な軍港としての価値があったが、空襲の激しくなった太平洋戦争の末期には、暗号の解読、レーダー性能の優劣の差によりこちらの情報は筒抜けで、待ち受けされて虎の子の航空母艦や戦艦を次々に失い三田尻湾に寄港する軍艦もなく、空爆するに値しない状況であったのかもしれない。他市に申し訳ないくらい平和な町であった。祖父母も元気で祖父は昔の趣味の菊作りに変えて野菜作りをはじめ、家族が食べるのには困っていないようであった。母は鍼灸院の開院を続けていたが、昔のように番号札を配るほどの盛業でなく趣味程度に近くの人々の治療をしていた。姉は町内会の事務をしていた。家の近くには祖母の縁者が多く種々面倒を見てもらっているようであった。父は昭和19年に亡くなっているし、兄は未だ中支におり復員していなかった。

さて、私の進路であるが、清水を離れる時から、子供の時の希望通り医学の道に進もうと決めていた。帰宅してみて種々条件を考えると医学の道に進む同意は得たものの食糧事情を考えても東京・大阪に出るのは無理があるように思える。

通学出来る場所は無いかと探してみた。専門学校ではあるが、宇部に医専がある。大学には転入学をする手もあるとこれに決めた。姉が滑り止めに経済専門学校も受けて置いたらという。山口経済専門学校は古くからある有名な学校であるが、私は経済の道に進む気持ちは毛頭ないが姉が言うのだからと受けておくことにした。口頭試問の時「君は当校と医専を併願しているが若し両方合格したらどちらに行きますか」と云われた。私は生意気にも「勿論医者になります」といった。帰宅してその話を姉にしたところ。「馬鹿ね そんなこと言うよと落ちるよ」と云ったが両方合格してしまった。医専の1年生の終り頃、アメリカの視察団が日本の医学教育の不備を指摘し、医学教育は

全部大学教育とし、現在の医専を教育設備、教授陣を審査してA級とB級に分け、医専として卒業したい者でA級と認められた学校は教育期間を1年延長して5年とし、インターンの1年を義務として課す。B級と認定された学校の学生は希望によりA級の学校に転学することを認めるということになった。

これにより各医専はA級昇格に向けて運動を開始した。幸い山口医専はA級と認められ昭和22年の2学期より大学予科を設置する事が認められた。転入生は医専の2～4年生、高等学校からの転入生もあり、その学力により、2年生から這入るか1年からにするか選択することになり、私は2年生からを受験した。

予科の科目はドイツ語以外は高等商船の2年間でやった基礎科目の繰り返しが多かったのでそれ程苦労はしなかったが、ドイツ語が週8時間あったのは大変だった。2年生から入ったのでそれだけ多かったのかもしれない。学長の息子も2年生編入組であったので学長がドイツ語の補修授業をやって下さったのでそれも受講した。

時間に余裕が出来たので、友達有志数人が集まって同人誌を作らないかという話が持ち上がり、私が編集長となり、最初はガリ版印刷から始めたが、防府から一緒に通っている1年生が印刷屋の息子であることを発見しそれも編集部に加え格安で活版印刷に切り替えることに成功した。問題は原稿を集めることである。医専の教授や講師、予科の先生のところにも丹念に回り原稿を戴いてきた。学長のところにも原稿を戴きに行ったが、学長曰く「大抵の人は勉強の合間に本を作っているが、伊藤君は本を作る合間に勉強している様だね」と。

本を作る合間でも勉強していると認められたので、まあいいかと本作りにも精を出した。

学校の前には真締川が流れているので同人誌の名前を「真締」と命名し私のペンネームは当時の学長が松本、病院長が水田と云い、これを横に2列に書いて縦から読むと本田松水となり、その名前で文章や詩が残っている。

私は医専に入った時から将来は外科をやろうと決めていたので、解剖はしっかりやっておく必要があると考え解剖の教授に解剖学教室に出入りすることをお願いし、許された。この教室には昔岡山大学で教鞭をとっておられ定年退職されてから山口に来られた山羊髭の気さくな初老の杉山九一先生がおられ、この先生は絵がすごく上手で標本片手に素早くスケッチされながら説明されるのでノートをとる余裕もありよく理解できた。この先生は文章も素晴らしく、同人誌の原稿も一番沢山

戴いたように思う。学生仲間間では親しみを込めて九一ちゃんに通っていた。その他私と同じ寅年の人が助手をして居り、講義の準備、死体の管理、組織標本の作製等をしてはいたが、寅年ということで何となく意気投合し、標本を借り出してスケッチの練習をしたり、組織標本の固定の仕方、切り出し方、染色の方法等を習いがてら手伝ってクラス員全員に配ったりもしていた。

大学1年生の春、山口女子専門学校の卒業生が10名くらい、事務員とか教授秘書とか図書館の司書等に採用された。学生間では色々噂が出ていたが、私は別に気にもしていなかった。

生理学の講義が始まって間もないころである。教授は英語の原書を教卓に置きそれを黙読しながら卓上に白墨で落書きしながらちゃんとした日本語で講義される。私などは辞書がなければ読めないのに。戦時中は外国の本は入ってこず、日本語の本は古くなっていった。やっとなら外国から本が這入りだした時代である。Text Book of Physiology とはどんな本なのだろう、有れば借り出して読んでみようとなら図書館に行った。そこに彼女は司書として居た。顔を見るなり私の心臓は「ドキン」と強い衝撃を受けて高鳴った。「なんと理知的で清楚な美しい人なのだろう」と、そこには大勢の学生が集まっていて哲学の議論をしていた。私は哲学の本をあまり読んで居ないので、黙って聞いていた。時々彼女にも意見を求めていたが、なかなか的確な受け答えをしていた。国文科出身と聞いていたが哲学も勉強しているのだなと感心させられた。Text Book of Physiology の有無を尋ねたところ、「この本は今生理学の教授が長期借り上げ中で残念ながらそれ1冊しかありません誠に申し訳ございません。もし購入するようなことがあればお知らせいたします。」と云われた。

帰りの道々頭の中は彼女の事で一杯になり、対応の仕方も立派、頭もよさそうだし姿かたちも美しい、理想的な女性である。突如与謝野鉄幹の「人を恋うる歌」の歌詞を思い出さずさんでいた。「妻をめとらば才たけて みめ麗しく情けあり 友を選ばば書を読みて・・・」これが初恋と云うものかなと思いつつ・・・。

それから何日か経ったある日、夕方から雨がしとしと降りだした。傘はもっていないし まあいいか濡れていこう と真締川の堤防をとぼとぼと歩いていた。びちびちと人が急いで歩いている様な音が聞こえてきたと思うと「伊藤さん」という女の音がする。振り返ると憧れの彼女である。「伊藤さんこの傘に入ってくださいませんか」と言う。「有難うございます」と素直に入れてもらうことにした。「貴女は何処まで行かれるのですか」

「私も宇部駅までですのでご遠慮なく」「有難うございます。貴女も列車通学だったのですか嬉しいな」と私に似合わず自然と声が出た。宇部から同じ列車に乗り、楽しく話しながら帰った。

「私は小郡に住んでいるのです」「では私の乗換駅ですね。今後ともよろしく」とは言ったが手も握らずに別れてしまった。(今なら気軽に握手をして別れるだろうが・・・) その後もデッキで立ち話をしたり、同じ座席に隣り合わせに座ったり、一緒に映画を見に行ったこともあるが、キスはおろか手も握れなかった。当時はキスという言葉は使われていなかったと思う。口づけ・接吻と云い字に示す如く軽く唇を接するだけの行為である。この様な行為でさえ結婚するまではやってはいけないものと厳しく躰けられていた。欧米人は人前でも堂々とdeep kiss に属する行為を平気でやってのける人もいるが、時代は変わったものである。戦後生まれの自由を謳歌した時代に育った人達には理解できないかもしれないが、私たちの少年～青年時代は論語にある「男女6歳にして席を同じゅうせず」と云う言葉が行き渡っており、学校でも家庭でも厳しく躰けられていた。小学校でも1年生の間は男女同じクラスで隣り合わせに座っていたが、2年生からは男女別々のクラスに分かれた。

初めて彼女の手を握ったのは、小郡に痴漢が出たという記事を見た日である。彼女も非常に恐れている様子であった。小郡で山陽本線に乗り換えるのにかかなり待ち時間があつたので途中下車し自宅の近くまで護衛していく事になった。昔取った杵柄で棒切れ一つあれば相手がナイフを持っていても叩き落せる自信があつたので、注意しながら薄暗い夜道を肩を並べて歩いて行つた。家の明かりが見えるようになり、此処まで来れば大丈夫ですということで、「では急いで注意して帰ってね」と別れ際に両手で握手し、しばらく後姿を見送って小郡駅に引き返した。

ある朝早く解剖学の教室に行ってみると彼女が英文タイプライターを打っていた。「お早ようございます。早くから大変ですね」と云うと、「今日から尾曾越教授の秘書に発令され先生が発表される英文原稿をタイプするように言われました。今練習中です」とのこと。新しいことの好きな私は「面白そうですね。私にも教えてくださいよ」「今ちょうど練習中なので一緒に練習しましょう」と云われ基本的操作を教えてもらって一緒に練習することになった。タイプライターは鍵盤を打つと長いアームが伸びて印字するようになっている。打つ速さとタイミングが合わないと長いアームがクロスして印字できないのでタイミングを上手に

とること。鍵盤のアルファベットの並びが字の使用頻度により、使いやすい指が合致するように並べられているのでその並びを指に覚えさせる必要がある。指が覚えるとブラインドタッチが出来、早く打つことができる。と云うことが分かり、面白くなってタイプライターを1台買い求め、中学校の英語の教科書を打ってみることから始めた。後にタイプライターはパソコンのワープロに取って代わられたがアルファベットの配置がタイプライターと同じなので全く違和感はなかった。長いアームがなくクロスして打てなくなることもないのでむしろ楽であった。彼女が解剖の教室に来て親密さは一層増し、国文科の出身なので同人誌の原稿も頼もうと考えた。私のペンネームの経緯を話したところ、私のも考えてください、と云うことなので氏名をもじって霧枝頼子と名付け和歌を何篇か投稿して戴いた。

時は流れたある日、突如学校から彼女の姿が消えてしまった。私も卒業が近くなり忙しく最近あまり彼女と会っていなかったが、心配になりながら人に尋ねるのとはばかられ、居そうな所を覗いてみたが駄目であった。(この顛末は後に触れる

ことにする)

この時以来廊下で華やかな女性の声を聴くと、彼女が帰って来たのかなと無意識にその方を見るようになってしまった。それを見たクラスメイトが、「やっとな伊藤君にも春が来たようだ、めでたい目出たい」と囁し立てた。多くの人が私を海軍予備生徒出身の超堅物と思っているようであった。私にも人並みに熱い血潮は流れているのに・・・。

その時いつか見た映画の1場面がふと頭に浮かんだ。その題名も筋書きも全く覚えていないのに何故かその画面のみが鮮烈に印象に残っている。俳優の志村喬が夕暮れ時公園のブランコに腰を下ろし、細かく揺れながら口ずさんでいた。「命短し、恋せよ乙女、赤き唇褪せぬ間に、熱き血潮の冷えぬ間に、明日の命はないものを・・・」私は乙女ではないがまだ若い、恋もするべし、成就もさせたい。

昭和28年3月山口医科大学第1期生として卒業式を迎えた。この日のコンパでビールと酒を初めて口にした。まったく酔った感じはしなかった。アルコールによほど強い体質なのだろうか。

例 会 記 録

[H29.4.4]

新居浜ロータリークラブ (第3144回)
新居浜南ロータリークラブ (第2452回)

合同例会次第

開 会 (点鐘)	加藤会長 (南)
来客紹介	越智親睦委員長 (南)
ニコニコ報告	宝田SAA (南)
〃	副SAA (新)
出席報告	小笠原出席委員長 (南)
〃	山内出席委員長 (新)
幹事報告	白川幹事 (南)
〃 (ホームページに掲載)	増田幹事 (新)
卓 話	
講師紹介	増田幹事 (新)
卓 話「一宮グループ75周年を迎えて」	
	一宮捷宏会員 (新)
閉 会 (点鐘)	高橋(正)会長 (新)

◆ 合同懇親会次第 ◆

開 会	越智親睦委員長 (南)
挨拶	加藤会長 (南)
乾 杯	高橋(正)会長 (新)
会食懇談	
・新入会員紹介 (前会以降入会者)	白川幹事 (南)
・次期三役紹介	加藤会長 (南)
・新入会員紹介 (〃)	増田幹事 (新)
・次期三役紹介	高橋(正)会長 (新)
手に手つないで	
閉会挨拶	井石(安)S.A.A (新)

H29.4.13 (第3145回)

開 会	高橋(正)会長	定例理事会報告	高橋(正)会長
来客紹介	平尾親睦委員	幹事報告 (ホームページに掲載)	増田幹事
ゲスト なし		各委員会の連絡事項	
来訪ロータリアン なし		ニコニコ報告	副SAA
誕生祝		内部卓話 (新入会員)	
(4月) 中山 恵二君 12日 西本 健君 13日		「エネルギー環境問題を考えてみよう」	山本一心会員
野村 大介君 25日 妹尾 次郎君 30日		情報雑誌	萩尾情報雑誌委員長
出席報告	山内出席委員長	閉 会	高橋(正)会長

H29.4.20 (第3146回)

開 会	伊東副会長	妹尾 次郎君 18日	青野 正君 19日
来客紹介	丹親睦委員	越智 仁君 23日	松田 哲雄君 29日
ゲスト 住友重機械工業(株) 愛媛製造所		出席報告	垂水出席副委員長
来訪ロータリアン	所長代理 高岡幸司様	持ち回り理事会報告	伊東副会長
名張中央RC 会長 生田亮司様		幹事報告 (ホームページに掲載)	増田幹事
結婚記念祝 (4月)		各委員会の連絡事項	
神野 勝太君 1日 小野 雄史君 2日		ニコニコ報告	副SAA
佐々木世希君 4日 小野 幸男君 5日		地区大会報告	伊東副会長
田中 康幸君 8日 安藤 賢一君 16日		閉 会	増田幹事
			伊東副会長

H29.4.27 (第3147回)

開 会	高橋(正)会長	幹事報告 (ホームページに掲載)	増田幹事
来客紹介	日野親睦委員長	各委員会の連絡事項	
ゲスト		ニコニコ報告	副SAA
淡交会新居浜支部 金村宗裕幹事長 以下7名様		お茶の会 呈茶	淡交会新居浜支部 役員他7名様
来訪ロータリアン なし		閉 会	高橋(正)会長
出席報告	山内出席委員長		

ニコニコBOX

(敬称略)

4月4日

野村 大介	支社統合で4月から愛媛新聞社新居浜支社は、東予支社新居浜となりました。今後ともよろしく願いいたします。	恵まれました。
朝日 俊雄	3/25 大安の日に、長女が長男を出産しました。お蔭様で3人目の孫に	高橋 正明 本日の卓話、宜しく願います。 伊東 省司 合同例会ありがとうございます。 一宮さんの卓話よろしく。 増田 忍 一宮さん、卓話よろしく願います。 す。

■ 4月13日

平岡セツ子
(平岡啓三元会員の
奥様)

お礼状 新居浜ロータリークラブ様
謹啓 先般、3/21 故 平岡啓三の葬儀に際しましては、ロータリークラブ会長様をはじめ多くの会員の皆様方に、わざわざ式場までお運びいただき、誠にありがとうございました。生前は、ロータリークラブの皆様方との交流を大変楽しみにしており、大変お世話になりました。皆様方からのご厚情にもかかわらず、残念ながらこの度、不帰の人となってしまいました。会員の皆様方に、わたくしどもの感謝の気持ちを、是非お伝えしたいと存じます。

小野 正師 平岡啓三元会員の奥様からの礼状を代読させて頂きました。
松尾 嘉禮 4月5日十全看護専門学校33期生30名の入学式挙行致しました。
山本 一心 北海道紋別のバイオマス発電所の竣工式をつつがなく挙行了しました。今後共ご支援下さい。
妹尾 次郎 創作地区がテレビ愛媛の“つながるワイドほ～なん。”で取材放映されました。オープン2年になります。
日野 英典 長男が、宮西小学校に無事入学しました。我が息子よ、がんばれー。
宮崎 誠司 長男がやっと中学校に入学しました。まだまだです。
小野 正師 3/24 お蔭様で62才になりました。

毎日酒がうまいです。

中山 恵二 昨日で67才になりました！これからも元気に仕事と遊びにがんばります！
西本 健 本日4月13日で丁度満70歳になりました。やっと半人前というところですか。これからあとの半人前分頑張ります。
野村 大介 60にして耳したがうといいますが、妻のひと言が耳に痛いこの頃です。おまけに息子とキャッチボールをして肩が痛いのは60肩というのでしょうか。誕生祝いありがとうございました。
妹尾 次郎 満56才になります。1年が半年のように思えます。ありがとうございました。
小野 雄史 4月2日にバラの花束を頂きました。昨年に続き休日に届きましたので、2人で受け取る事が出来て良かったです。
松尾 嘉禮 球春や 屋根(巨人)より高く 鯉泳ぎ
山本 一心 本日は、つたない卓話をいたします。参考になさって下さい。
妹尾 次郎 理事会を失念しておりました。申し訳ございません。
青野 正、永田 光春、河野 治広(その他)

■ 4月20日

生田 亮司
(名張中央RC会長)

伊東 省司

垂水 辰仁

矢田 義久

桑原 征一

永田 光春

初めて訪問させて頂きます。お世話になります。宜しくお願い致します。
ゲストの高岡様、名張中央ロータリー生田会長様、ご出席ありがとうございます。本日は地区大会の報告をさせて頂きます。
生田様、新居浜を満喫してお帰り下さい。
このたび、『日本ギフト大賞・愛媛賞』を受賞することができました。愛媛新聞様には本当にありがとうございました。
先日の地区大会の参加、ご苦労様でした。来年秋の新居浜での地区大会宜しくお願い致します。
地区大会全員登録ありがとうございました。又、地区大会参加協力も重ねてお礼申し上げます。

安藤 賢一

青野 正

佐々木世希

松田 哲雄

神野 勝太

小野 幸男

妹尾 次郎

田中 康幸

村上 正純、

よくもよう46年共に歩きました。金婚式まで元気でありがたいものです。
美しいバラの花ありがとうございました。なんとか仲良くやっています。
35周年を迎えました。これからも仲良く暮らします。
お花ありがとうございました。
47回目の結婚記念日です。美しい花を有難うございました。
結婚記念祝の花束を送っていただきありがとうございます。
結婚30周年です。アツという間です。よく続いているものです。自分の忍耐力、中々のものです。
結婚4周年です。まだまだ新婚みたいですが、家族協力して頑張りたいと思います。
西本 健、曾我部謙一(その他)

■ 4月27日

高橋 正明 (お礼) 春の茶会、今春もよろしく
 お願いします。

安藤 賢一 嫁がお世話になります。

畑田 達志 本日のお茶席お世話になります。お
 茶席のお菓子はハタダの生菓子で、
 銘は「せせらぎ」です。

朝日 俊雄 ツツジと藤が開花し始めた爽やかな
 季節になりました。大安の本日、裏
 千家淡交会の役員の方々のご奉仕で
 のお呈茶、ありがとうございます。
 今日のお抹茶は御家元御好の「清浄
 の白」です。お楽しみ下さい。

桑原 征一 弊社(桑原運輸(株))が、公益財団法人

愛媛銀行ふるさと振興基金殿より、
 ふるさと振興賞を頂きました。

高橋 正明 先週は、はじめて休ませてもらい、
 伊東副会長にお世話になりました。
 お礼でニコニコ入れます。

西岡 勝 ロータリークラブよりお見舞をいた
 だき、ありがとうございます。4月
 6日に退院しました。自宅療養中
 ですが、まだあまり動けませんので、
 当分の間欠席します。御迷惑おかけ
 しますが、よろしくをお願いします。

近藤 利彦、増田 忍 (その他)

2016～17年度

ニコニコ寄付金

4月 合計 45 件 137,000 円

累計 493 件 1,630,000 円

2016～17年度の入退会者

月/日	入 会	退 会	事業所名	紹介者	正会員数
9/1	平尾秀一郎		(株)愛媛銀行 新居浜支店	桑原 征一	6月末 56名
9/29		中村 正明	(株)百十四銀行 新居浜支店	神野 勝太	8月末 56名
10/27	貝掛 敦		住友金属鉱山(株) 別子事業所	西本 健	9月末 56名
10/27	丹 一志		住友化学(株) 愛媛工場	一宮 捷宏	10月末 59名
10/27	山本 一心		住友共同電力(株)	秋月 伸治	11月末 59名
12/8	松浦 正樹		(株)百十四銀行 新居浜支店	神野 勝太	12月末 60名
1/12	鈴木 誠祐		医療法人 住友別子病院	西本 健	1月末 61名
3/31		矢代 成男	大和証券(株) 新居浜支店	嶋田 祐二	3月末 60名
計	6名	1名			4月末 60名

おのこの物そして心の両面の10%をささげ、
 世界に平和と健康をつくりだす人を一。

PHD

PEACE・HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT

PHD箱寄付金報告 (インターアクト委員会)

4月合計額 6,722円

2016～17年度累計額 44,565円

昭和57年5月13日スタート以降の累計額 1,590,104円

表紙のことば

「バラが咲いた バラが咲いた 真っ赤なバラが 寂しかった 僕の庭にバラが咲いた バラよ バラよ…」という歌がある。私の家の庭にも全く手入れをしなかった鉢植えのバラが今年は小さいながら真っ赤な花をつけてくれた。私はバラは嫌いではないのだが、育て方が悪いのか失敗が多い。岐阜の家の庭には真っ黒と云ってよい位の濃紺のバラがあり、多くの人が珍しいと褒めて呉れていたので大切に育てていたが、新居浜に転勤になり、その家を人に貸したままもう30年を過ごしその後どうなったか確認していない。

新居浜では最初院長宿舎に入ったが、先代の院長は花が好きで、いろんな花を植え庭と庭の境に門のようにバラのアーチ型の通路を作っておられたが、虫に食い荒らされ枯らしてしまった。現在我が家にある鉢植えのバラは家内がその一部を移植したものであるらしい。元来は蔓バラであるので枝を長く伸ばし家内が棒で支えをしておいたのでさらに高く伸びようとしている。

家内は今入退院を繰り返し、世話が出来ず、私は何時も帰りが遅く休みの日も何かと出ることが多く世話が出来ていない。今年小さいながら真っ赤な花をつけてくれたのは、何とか世話をして下さいとの悲痛な叫びのような気がする。

何とか暇を作って世話をしようと思っている。その証として真っ赤な大き目のバラを表紙絵にえらんだと思って下さい。

絵・文 伊藤雅治

編集後記

伊藤先生の今月号の表紙は、大輪の薔薇の花です。私達夫婦も今月が、結婚記念日だったのでロータリークラブから真紅の薔薇を頂きました。うちの女房は薔薇が好きで、この時期になると西へ東へと薔薇を、見に走ります。昨年も、松山萬翠荘の薔薇展に連れられて私もまいりました。私も一緒に色々行きますが高知県香南市の山の中のイングリッシュガーデンハウスは、なかなか興味深い所でした。ここの男性オーナーは、本業は、柑橘系の農家で文旦や温室みかん(宮内庁御用達、無農薬、皮が青くても中味は、甘く香りがすばらしい)他色々作られています。

話が薔薇に戻りますがここの薔薇園は、オーナーが若い頃農業研修でヨーロッパに行きイギリスに渡った時に薔薇の美しさと奥深さに惚れて、血統書付きの薔薇を説得して譲ってもらい苦労して自分の土地に根付かせたそうです。(薔薇も種類によっては簡単に分けてくれない品種もあるとか。)

それも遠くから高知の農家に嫁いできた薔薇の好きな奥さんのために。(うちの妻が、ここに私を連れてきた訳が・・・)妻は、その話は知らなかったと言ってますが?

今は、薔薇を、見学する人も増えカフェも併設しています。薔薇が好きな人は、一度訪れては!場所は、見つけるのにナビがあっても少しだけ苦労するかも。

例会場	リーガロイヤルホテル新居浜	例会日 (木曜日) 12:30~13:30
事務所	リーガロイヤルホテル新居浜	〒792-0007 新居浜市前田町6-9
		TEL (0897) 34-6767 FAX (0897) 35-1321
会長	高橋正明	幹事 増田忍

この会報誌は環境保全・森林保護のため再生紙を利用して発行しております。

- 発行所 新居浜ロータリークラブ 会報委員長 井石正哉
- 印刷所 東田印刷株式会社